

11月19日 国東市 とみくじマラソン大会

県内最大の市民レース「仏の里くにさき」とみくじマラソン大会(大分合同新聞社など共催)は11月19日、国東市国東町浜崎の国東陸上競技場が発着点の特設コースである。9月末まで参加を募っている。

今年で28回目。日本陸上競技連盟の公認レースで、稲刈り後の田んぼに並ぶかかしも見どころ。▽フル(8千円)▽ハーフ(4500円)▽10

仏の里でいい汗流そう

今月末まで参加者募集

県内最大の市民レース「仏の里くにさき」とみくじマラソン大会(大分合同新聞社など共催)は11月19日、国東市国東町浜崎の国東陸上競技場が発着点の特設コースである。9月末まで参加を募っている。

今年で28回目。日本陸上競技連盟の公認レースで、稲刈り後の田んぼに並ぶかかしも見どころ。▽フル(8千円)▽ハーフ(4500円)▽10

「...とみくじマラソン」 エントリー受け付け中

今年8月に発足した「全国で当地マラソン協議会」加盟大会の一つ、「第28回仏の里くにさき・とみくじマラソン大会」(特別後援・スポーツニッポン新聞社)が11月19日に大分県の国東陸上競技場をスタート、フィニッシュ地点として行われる。現在、フル、ハーフ、10キなど各部門でエントリー受け付け中。故事で伝えられる縁起のいい「富が来る路」＝「富来路(とみ



「くじ」がコースとなっており、参加賞にも

西日本宝くじがついてくることでもおなじみだ。

沿道は稲刈りの終わった晩秋の田園風景が広がる、地元の人々がユニークな創作案山子(かかし)を数多く立てて応援してくれる。昼食はタコめし、まつたけご飯、「根性」や「ファイト」という意味の国後の方言でもある「いころ」鍋などから好きなものを選べる。エイドステーションも充実しており、おもてなしの心を感じられる大会だ。詳細は別掲アドレスまで。

tomikuji-marathon.jp

今年も大分県で11月19日に行われる「仏の里くにさき・とみくじマラソン大会」(写真は昨年の様子)